'70.5.15

ベトナム－インドシナ永久革命勝利！

アジア反革命会議粉砕！愛知訪ジャカ阻止！

学生インター

本日の集会に結集された全都の労働者・学生市民諸君。

五月一日ニクソンは米軍のカンボジア侵攻に関する声明を発した。その事はグアムドクトリンの破産を見事に示していたし、米帝国主義のアジア反革命の最后のあがきをはっきり示したのである。そしてこのグアムドクトリンの破産の過程はベトナム革命に深く引きずり込まれた米帝国主義の苦悶をはっきり示している。

ベトナム革命は第三次アジア革命の一大支柱たる全インドシナ永久革命へと突入した。パテトラオのひきいるラオス愛国戦線とカンプチア解放戦線、南部ベトナム解放戦線、北ベトナム軍の血盟による反米帝統一戦線の結成はインドシナ武装解放斗争の前進をはっきり示している。米帝の五月三十日までのカンボジアよりの撤兵なる声明も全く展望のないものとなっている。

アメリ[illegible]軍事帝国主義は自らのベトナム軍事反革命の長期持久戦化は、全ベトナム革命勢力の反革命の持久戦化に対抗する背后地へ（カンボジア・ラオス）の拡大の水路を通じて全インドシナ永久武装解放斗争へと押しやった事を知らない。すでにベトナム革命は深く深くカンボジア・ラオスの地に根をはりホーチミン・ルートの強化は米軍の一時的攻撃では決して打ち破れないものへと拡大されていた。それ故、米軍のカンボジア侵攻の意図は、増々解放戦線の力を全インドシナに拡大する以上のものではなく、第三次アジア革命を増々深く発展させるものでしかない。

五月十二日、南ベトナムのカイライ政権グエン・バン・チューは南ベトナム・カンボジア・ラオス、タイの反共同盟結成を呼びかけた。この反共同盟結成の呼びかけは現在のインドシナ革命の現段階を示している。インドシナ半島に於ける革命と反革命は全反[illegible]をまき込み、増々全アジアに拡大されてゆくであろう。

カンボジアに於ての親米政权ロンノルの軍事クーデターは典型的に「中立」としてのインドシナの存在を否定した姿を示した。シアヌークの追放は「中立」なる立場はインドシナには許されない事を示したのである。このインドシナの革命と反革命は必ずやタイをもまき込み、第三次アジア革命の最終的決戦場極東アジアにさらに大きな波を押しよせるであろう。米帝国主義はそこでさらにこのアジア革命の中に自己の最后的姿を見る事を強制されるのである。我々は見なければならない！東アジアに於ける革命の進行はアメリカ軍事帝国主義の旗目下のもとに極東に於ける凝縮した反革命を作り出すであろう。

我々の任ムはそれ故、このベトナム－インドシナ永久革命をこの極東構造の中に持ち込む事でなくてはならない。すなわち第三次アジア革命の進行しつつある現実を極東軍事構造－南朝鮮・沖縄、本土日本－解体の為に我々を動員する事。それが我々の「ベトナム、インドシナ革命勝利！」というスローガンの質である。それ故、革マルの「ベトナム戦争の全インドシナ拡大反対」は論外として、結局はその革マルの平和主義、反革命の論理に行きつく中核派の侵略戦争反対も絶対的に解体されるイデオロギーでしかない。

本土一国平和主義を解体し、激動のアジアに己れを投じ、革命の側に自己をすへ切る事は我々国際主義者の任ムでなくてはならない。

（ウラへ）

『日帝のインドシナ革命への敵対を粉砕せよ！』

米帝に后押しされたインドネシア外相マリクに提唱されたアジア諸国会議は[illegible]ジャカルタに於いて開催されようとしている。[illegible]帝国主義として自己を再編強化し、沖縄統合をもって沖縄反軍事植民地斗争を解体せんとして来た日本本土帝国主義は自らの反革命的任ムをなさんと[illegible]愛知を羽田より出発させた。我々はこの反革命的日帝に対し、極東軍事構造解体として自己の任ムを定めなければならない。

アジア会議への日帝の参加は昨年十一月の日米共同声明によって表わされたアジアに於ける「日本の責任」なるものの本質をアジア反革命として登場を開始した。

全ての学友諸君！労働者諸君！

我々の任ムは、このアジア軍事帝国主義体制打倒に向け、インドシナ永久武装解放斗争の永久的前進のために斗い抜く事である。

極東解放革命派の五－六月の任ムは進行する第三次アジア革命の斗争拠点を強固にこの本土に構築する事である。この方針とした一国平和主義を国際主義を持って解体せよ！

インドシナ反革命アジア会議粉砕！

ベトナム－インドシナ永久革命勝利！

アジア軍事帝国主義体制粉砕！

極東解放革命勝利！

日帝の沖縄統合阻止！沖縄労農自治政府樹立！

アジア反革命同盟＝日米安保粉砕！

5.28 第4インター[illegible]沖縄集会

武さしの[illegible]（吉祥寺下車）

あいさつ 小西三とう、[illegible]

連絡先 新時代社（261－5823）

第4インター日本支部・日本革命的共産主義者同盟、国際主義共産学生同盟（学生インター）